

職人さん。

いの町のまちで会いましょう

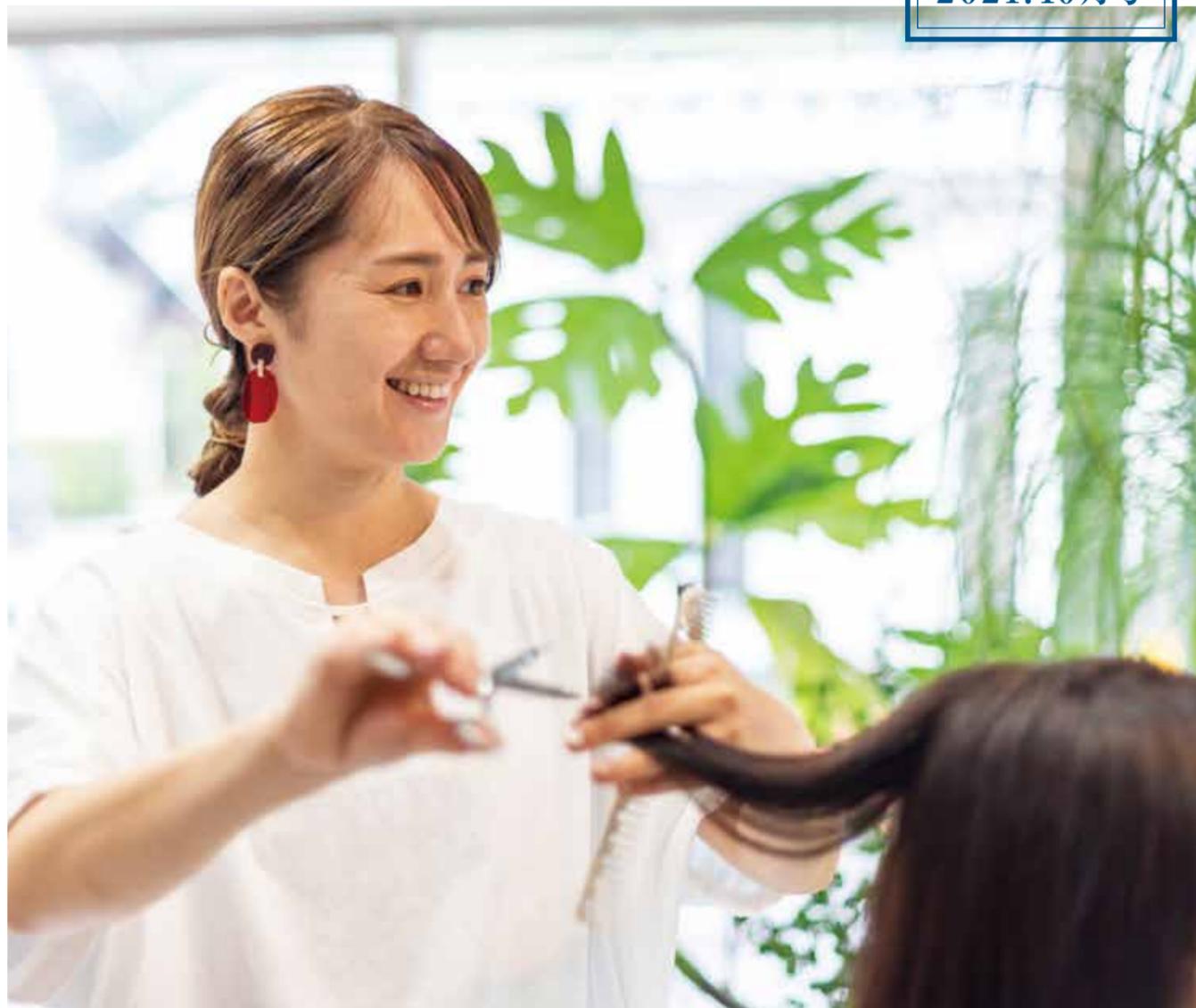
第10話

2021.10月号

ナチュラルに生きていけそう。

ur tukka

ヘアスタイリスト ^{さくらい} 櫻井 ^{ちか} 知佳さん



プロフィール：いの町柳瀬出身。看護師の勉強を経て美容師の道へ。21歳で上京し、美容師の専門学校を卒業。東京と高知のサロンで勤務後、独立していの町商店街でサロンをオープン。2児の母。



大国さまから商店街を100メートルほど歩いてくると、ある場所の前でふと、足が停まります。築70年の町屋をリノベーションした、シンプルで心地良さそうなヘアサロン。オーナーのヘアスタイリスト、櫻井知佳さんの混じり気ない笑顔と、澄んだ空気が迎えてくれます。

ウルトゥッカ、自然体で優しくなれそうな魔法めいた名前は、潤いのウル、髪の毛を意味するフィンランド語のトゥッカに由来するのだそうです。この場所は、第4話で登場いただいたグッドファイブのお隣さん。子どものパパ友でもある小野さんが紹介してくださったそうです。プレオープンが2020年の12月、明けて1月に本オープン。コロナ下で迎えた1年目ですが、口コミで近隣や吾北地区、日高村などからのリピーターが増えてきたそう。完全予約制で、席はゲストお一人のためのもの。サロンにいる間は自分だけの、安心して癒やされる時間が持てます。いつもかまってあげられない自分自身へのプレゼント。ここにあるのは、そんな安らぎ。



「痛くない」シャンプー台には思いきって投資しました。

天然成分で化学物質をほとんど使わない製品選び。

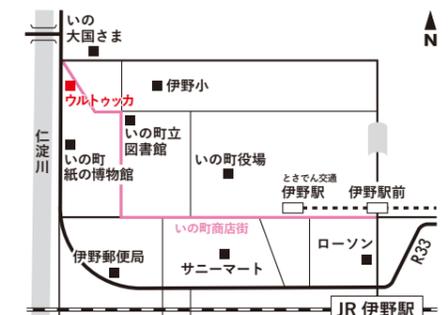
技を支える大事な道具たち。



漆喰の壁が優しい古民家ヘアサロンで、ゆったり自分磨きを。

櫻井さんはお客さまの肌質や髪質に合わせたシャンプー剤を使うなど、細やかな配慮をしています。基礎化粧品なども含め、できる限り人工的な成分が入っていない製品を選んでいくとのこと。「香りが好きなので、店内でアロマを楽しむのでいいです。寝不足の朝などは、その日の気分ですぐに香りを選び、まずすっきりしてから一日を始めます」そして嬉しいのは、首や背中が痛くなりにくい体圧分散型のシャンプー台。櫻井さん自身が首を圧迫されるのが苦手なため、お客さまに痛い思いをさせたくないので。

これなら、ヘッドスバも安心して受けられます。サービスのコーヒーは知人のところから自家焙煎豆を取り寄せています。植物も好きで、つい増やしてしまうとか。洗さがにじみ出る古い梁や天井をオイルで塗り、空間を店舗と車庫に区切って漆喰壁も塗り、車庫の奥の本格的な木の扉も組み立てました。こうして出来上がった、好きなものに囲まれた空間だからこそ、訪れるお客さまにも居心地が良いのでしょう。ここに座っていると、古い家が再び命を吹き込まれ、



Ur tukka (ウルトゥッカ)

いの町3107
営業/10:00~18:00(予約制)
定休日/土曜・日曜のいずれか
TEL/080-9833-3107



喜んでいよう感じがします。

実は櫻井さんは高校卒業後、2年間、看護の道に進みました。ところが骨折してしまい、治療のため留年することに。その間にモデルとしてアルバイトさせてもらった美容院での着付けが楽しく、すっかり着物ファンになったのだそうです。先生たちへの尊敬や憧れも生まれ、とうとう人生の進路を転換。1年間学費を貯めて美容師を目指し、上京したのでした。

専門学校を終えて美容師として働いた後、結婚して4年前に関東出身の夫とともに故郷へ。夢だった独立も果たしました。2児の子育てに大忙しのママですが、自分らしい働き方を探し、気負わず実現している姿に共感します。

「いの町にはハンドメイドをされている作家さんが多いので、小物を置いたり、この街を知っていただけるスペースを充実させたいです」と話し、まだまだ好きなものは増えそうです。